

日本橋地域ルネッサンス 100 年計画委員会

セミナーのご案内

当委員会主催のセミナー、第7回開催のご案内です。今回は、美術史家の木下直之先生を講師にお迎えいたします。木下先生は文化資源学の一環として、見世物から動物園、戦争、股間表現まで幅広く研究、ユニークな著作も話題となっています。また、先日、皆様にご案内いたしました、写真展「100人の日本橋」のシンポジウムでも講師を務められます。明治時代にフォーカスし、木下先生独自の視点で、当時の日本橋の風景、神田祭のエピソードなど、貴重な写真を見せていただきながらの楽しいセミナーです。

第七回「明治の日本橋」

講師：木下直之（美術史家）

日時：10月4日（水）18時～19時30分

会場：日本橋162ビル8階（中央通り沿い、1階が奈良まほろば館のビルです）

受講料：無料

申込：下欄にお名前をご記入のうえ、FAXでお申し込みください

FAX 03-3231-2235 ※9月末日までにお問い合わせいたします

講師プロフィール：

1954年浜松生まれ。東京大学教授、文化資源学専攻。東京藝術大学大学院中退後、兵庫県立近代美術館学芸員、東京大学総合研究博物館助教授を経て、2000年より東京大学大学院人文社会系研究科所属。静岡県立美術館館長。日本動物園水族館協会顧問。

19世紀日本の文化を、美術・写真・見世物・祭礼・記念碑・博物館・動物園・戦争などの観点から研究している。2015年春の紫綬褒章。2017年中日文化賞。

主な著書に『美術という見世物』（平凡社 1993/サントリー学芸賞）、『ハリボテの町』（朝日新聞社 1996）、『写真画論』（岩波書店 1996/重森弘淹写真評論賞）、『世の途中から隠されていること』（晶文社 2002）、『わたしの城下町』（筑摩書房 2007/芸術選奨文部科学大臣賞）、『股間若衆』（新潮社 2012）、『戦争という見世物』（ミネルヴァ書房 2013）、『銅像時代』（岩波書店 2014）、『せいきの大問題』（新潮社 2017）などがある。

お名前
